



安全データシート

Page 1 of 10

カビ取りジェル 150g (50pc)

SDS No. : 471550

v001.2

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 15. 04. 2022

発行日: 17. 05. 2022

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1643921
製品名 : カビ取りジェル150g (50pc)
推奨される用途 : 充填材
会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚腐食性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激	区分 1
刺激性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性（長期間）	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 H401 水生生物に毒性。 H412 長期継続的影響により水生生物に有害。
安全対策	P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置:	P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P304+P340+P310 吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
保管:	P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物
化学特性: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
次亜塩素酸ナトリウム	1 - 2.5 %
水酸化カリウム	1 - 2.5 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。
眼に入った場合:	直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぎ、コップに1~2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 燃焼しない。

火災時の特有の危険有害性: 何も予期されていない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 保護具を着用すること。
8項目の注意を参照すること。

環境に対する注意事項: 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 物理的に除去する。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

保管:
安全な保管条件: 保管場所および作業部屋の換気が十分行われているようにする。
容器をしっかりと密封しておくこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
水酸化カリウム		2	上限値:		JPJ50H OEL
[水酸化カリウム]					

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
水酸化カリウム		2	天井限界値:		ACGIH

--	--	--	--	--	--

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具: 熱溶解物を扱う際は、屈折性の手袋を着用すること。

眼の保護具: 防護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具: 保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	液体	色:	赤みがあった
pH:	> 13	臭い:	わずかな特異臭
沸点:	100 ° C (212 ° F)	融点:	データ無し/対象外
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	0.95 - 1.05 g/cm3
引火点:	該当なし	蒸気圧:	データ無し/対象外
爆発範囲 (下限):	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限):	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性: 意図された目的に使用される場合は、無し

避けるべき条件 湿気を避けること。
水

危険有害な分解生成物: 仕様書に従った使用であれば分解しない。

11. 有害性情報

一般毒性情報: これまでの経験に基づく、製品の正しい使用および取扱いで害が及ぶことは無い。

11. 1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	LD 50	5,800 mg/kg	マウス	
次亜塩素酸ナトリウム	LD 50	8.91 g/kg	ラット	
次亜塩素酸ナトリウム	LD50	8,830 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
水酸化カリウム	LD 50	273 mg/kg	ラット	
水酸化カリウム	LD 50	1.23 g/kg	ラット	
水酸化カリウム	LD50	388 mg/kg	ラット	OECD Guideline 425 (Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure)

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	LD50	> 20,000 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	LC 50	> 10.5 mg/l	蒸気	1 h	ラット	

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	corrosive			指定されていません
水酸化カリウム	corrosive	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	corrosive			指定されていません
水酸化カリウム	corrosive		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	not sensitising	Buehler test	モルモット	equivalent or similar to OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
水酸化カリウム	not sensitising	Intracutaneous test	モルモット	Landsteiner & Jacobs Method

生殖細胞変異原性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	positive with metabolic activation	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	with		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
次亜塩素酸ナトリウム	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	without		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
次亜塩素酸ナトリウム	ambiguous	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
水酸化カリウム	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		指定されていません
次亜塩素酸ナトリウム	陰性	intraperitoneal		マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
次亜塩素酸ナトリウム	陰性	oral: gavage		マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
次亜塩素酸ナトリウム	陰性	oral: gavage		マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 475 (Mammalian Bone Marrow Chromosome Aberration Test)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	not carcinogenic	oral: drinking water	103-104 w daily in drinking water	ラット	male/female	equivalent or similar OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	NOAEL P >= 5 mg/kg NOAEL F1 >= 5 mg/kg	one-generation study	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 415 (One-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	NOAEL 50 - 57 mg/kg	oral: drinking water	90 d daily	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管、土壌または水辺に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	LC50	0.062 - 0.095 mg/l	96 h	Salmo gairdneri (new name: Oncorhynchus mykiss)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
水酸化カリウム	LC50	80 mg/l	96 h	カダヤシ	指定されていません

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	EC50	0.035 mg/l	48 h	Ceriodaphnia dubia	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
水酸化カリウム	EC50	> 100 mg/l		Daphnia sp.	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

データなし

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	EC50	0.036 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
次亜塩素酸ナトリウム	NOEC	0.005 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	EC50	563 mg/l	3 h	activated sludge, domestic	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
水酸化カリウム	EC0	> 100 mg/l	30 min		指定されていません

12.2. 残留性と分解性

データなし

12.3. 生態蓄積性

データなし

12.4. 土壤中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
次亜塩素酸ナトリウム	-3.42	20 ° C	QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法:

所轄官庁へ問い合わせの上、必要な前処理を行うこと。

汚染容器包装の廃棄方法::

洗浄不可能なパッケージは、中の製品と同じ方法で処分すること。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 8
Packing group: III
UN no.: 1791
Label: 8
EmS: F-A,S-B
Seawater pollutant: P
Proper shipping name: HYPOCHLORITE SOLUTION (Sodium hypochlorite)

Air transport IATA:

Class: 8
Packing group: III
Packing instructions (passenger) 852
Packing instructions (cargo) 856
UN no.: 1791
Label: 8
Proper shipping name: Hypochlorite solution

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物
名称等を表示すべき有害物

水酸化カリウム
水酸化カリウム

消防法

該当しない

毒物及び劇物取締法：

該当しない

PRTR法：

該当しない

16. その他の情報

発行日：

17. 05. 2022

注意：

この安全性データシートは日本工業規格（JIS：Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。